

令和3年度事業報告書

1) 本部

今年度も昨年度同様、新型コロナウイルス感染症の予防対策として、ご家族の面会制限をおこない、ガラス越しにワイヤレスインターフォンを使用しての面会を行いました。

しかし、1月からは、感染者数の増加による佐賀県のまん延防止措置の適用に合わせ、面会禁止の措置をとりました。

また、施設職員2名の離職があり、夜勤者の不足がみられ、それを補うために夜勤職員の1月あたりの夜勤回数が増え、身体的に無理が生じました。介護職員確保は、今後も引き続きの課題であり、外国人の活用を継続していく必要性を感じています。

ケアマネージメントサービスでは、1名の職員が12月より育児休暇より復帰したことで職員を1名特別養護老人ホームの相談員へ異動させました。

ケアハウスにおいては、昨年同様周辺に住宅型高齢者施設が増えたせいか入所申込者は少なくなっていますが、入退居が少なく、ほぼ満室状態が続いています。

有料老人ホームにおいては、単独での収益では経営が成り立たないため、在宅サービスの収益アップを図るために、サービス利用者のさらなる獲得と取得できる加算に対して体制を作ってきました。

デイサービスセンターは、稼働率がアップし収益が上がりました。

人材育成面については、コロナウイルス感染予防のため外部研修ができない状況に伴い、WEB(インターネットを使用した閲覧システム)研修の専門学校と契約を継続し、ご利用者に安心安全で、信頼される施設となれるよう、職員の質の向上を図るため、全職員に映像での講義研修の機会を数多く設けました。

外国人留学生は、日本の生活にも慣れ、学業に励み3月に卒業し4月より施設職員として当法人に就職します。

人材確保では、日本人新卒者2名、外国人新卒者1名、外国人特定技能実習生を確保することができました。

また、外国人留学生においては、ネパール人の留学生を1名佐賀女子短期大学より、受け入れています。

令和3年度 主な事業実施状況報告

運営面	理事会3回(6月8日、6月23日(書面)、1月24日、1月28日、3月30日(書面)) 評議員会1回(6月23日) 監事監査 1回 (5月21日)
人材確保	4名
主な行事	クリスマス会 誕生会 新年会 クラブ活動 お茶会
地域交流	コロナウィルス感染予防のため未実施
地域貢献	車椅子対応軽自動車及び車椅子無料貸出し、介護予防ふれあいデイサービス 送迎支援、大町町地域ケアネットワーク会議参加、佐賀県地域包括ケア推進会 議参加、大町町社協理事及び評議員、大町町地域包括支援センター運営委員、 大町町地域福祉計画策定委員、大町町入所判定委員、介護認定審査委員、佐賀 県老人福祉施設協議会役員、佐賀県介護保険事業連合会理事、杵藤地区広域 市町村組合地域密着型サービス運営委員、佐賀女子短期大学実習受け入れ
広 報	施設版発行、デイサービス月例便り発行
防火対策	昼間避難訓練8月12日、 夜間避難訓練実施 12月23日(夜間想定で昼間実施) 非常放送設備保守 電気設備点検(月次点検実施)
環境対策	合併処理施設放流水透視度点検(月2回) 害虫駆除 年2回 浄化槽検査及び清掃実施 園内草刈清掃実施 受水槽清掃 浄化槽法定検査(特養1回)(有料1回)
衛生対策	飲料水の水質検査実施(1回) レジオネラ菌の定期検査(2回) ヘアーキャッチャーの洗浄殺菌消毒実施
面 会	家族の方へ各行事の案内と面会依頼
預り金管理	月毎に確認管理を行い4半期毎に実績を報告
人材育成	内部研修 (感染症対策、虐待防止、事故防止、接遇、新人研修)

WEB研修（延148名が研修に参加しました）

NO	研修名	参加	NO	研修名	参加
1	身体拘束防止の具体策	15名	15	感染対策において求められるもの	10名
2	看取りの基本研修	1名	16	排泄支援の知識と技術の基礎研修	2名
3	緊急時対応の理解	1名	17	力と意欲を引き出す介助術	2名
4	看取りとは	1名	18	報告・連絡・相談の意味と重要性	2名
5	緊急時対応研修	1名	19	ターミナルケア基礎研修	1名
6	介護従事者の接遇	4名	20	個人情報の取り扱い	7名
7	高齢者の転倒予防	23名	21	介護職員の医療行為	5名
8	認知症ケアの専門性を理解する 研修	21名	22	報告の仕方研修	8名
9	高齢者支援を行う対人援助職の 倫理	21名	23	ヒヤリハットの目的と意義	8名
10	介護従事者の気づきの力を 高める	4名	24	介護職員の医療外行為	2名
11	認知症の人と寄り添う為に専門職 として知っておきたい5つの視点	2名	25	記録を充実させるための意味と 重要性	1名
12	座り方次第で介護が楽になる明日 から出来るシーティングの実践	1名	26	職員の教育効果を高めるための 基礎研修	1名
13	褥瘡予防のための状況別ポジショ ニング	1名	27	新型コロナウイルス感染感染予防対 策研修	2名
14	介護事業所のためのチームワーク 向上研修	1名			

2) 特別養護老人ホームすみれ園

重点実施項目についての状況・結果報告

1. 日常生活の援助

現在、特養の新規入居者は、原則要介護3以上の高齢者に限定され、在宅での生活が困難な中重度の要介護者を支える施設としての機能に重点化することとなりました。

また、町内で介護施設が設立され、以前に比べ老老介護世帯や独居世帯に関わる件数が減少しました。利用者が軽度の状態から利用した施設を中度重度となっても、そのまま馴染んだところを利用していくパターンが増えました。

このことにより入所の待機者やショートステイの利用者数がここ数年減少しています。

1年間の入所者は12名、退所者17名となり、前年度より入所者5名減少、退所者が、1名増加となり、入退所の入れ替わりが減少し、比較的安定した状態となっております。

稼働率で見ますと令和3年度末で、89.5%の状態、令和2年度末で97.9%でしたので、稼働率は、若干ダウンしております。大町町で発生した水害の影響で、町内の医療施設等が被害を受けられ、入所前の健康診断を受けられず新規の入所者の受け入れが、一時的にできなかったことが影響していると思われます。

新規入所者は病院からの入所が4名、特養のロングショートからが5名、他福祉施設からが3名、自宅からの入所が0名。令和4年3月末現在で、入所者の方の要介護度は45.6%が要介護4、5、42.1%が、要介護3でした。昨年より要介護4、5の方の割合が減少、要介護3の方の割合が増加しています。一方、要介護1、2の特例入所者は、7名となり、12.3%と割以上を占めるようになってきています。要介護度平均値は、3.5となっております。

平均年齢は、89.0歳(前年度88.1歳)平均在籍月数は、4年5.3か月と前年度の4年0か月より若干長くなっています。

身体が元気で認知症状が進行した方々の精神的援助、身心の低下による日常生活全般の援助、また胃瘻造設者は2名となりました。

(短期入所者数は別紙記載報告)…稼働率は、85.4%。昨年の利用率84.8%より増加となっております。平均年齢92.5歳、要介護度平均値は、2.9となっております。

2. 行事

行事を通して入居者へ適度な精神的刺激を受けていただくように努めました。

誕生会や季節の行事等の月間行事は行うことができましたが、バスハイクはコロナ禍の為年間通して中止となり、天候が良い日に園庭への散歩を行うことで気分転換を図りました。お楽しみ会やハロウィンパーティーを開催し、職員の出物やゲームなど楽しい時間を過ごしていただくよう立案、実施しました。

施設の改修により多目的ホールが増設され、入居者が過ごせる空間ができ、ゆったりとした時間を過ごすことができ、レクリエーション等も出来る範囲で取り組むことができました。また、新たにユーチューブを活用しての音楽リハビリ等取り組むことができました。

(各行事については別紙に記載報告)

3. 地域交流と社会参加の場づくり

コロナ禍のため、運動会、敬老会、町内外サークル慰問等により地域交流社会参加の場づくりが出来ておりません。

4. 広報活動

広報活動やご家族との双方向のコミュニケーションの活性化のため、今後、広報活動としてホームページ等インターネット、LINE、Facebook等のSNSの活用、また、Zoomアプリを活用し、遠方からのご家族との面会等も検討が、必要かと思われます。

担当介護員からの賀状等を送付しました。

5. 防災活動

避難訓練(コロナ禍のため、昼間の避難訓練が、実施できておりません。

6. 感染症対策

入居者職員の感染予防対策として、年に1回の胸部レントゲン撮影、インフルエンザの予防接種、コロナワクチン接種3回を行い日々の手洗いや嗽の励行、入居者の口腔ケアに努めました。

また、感染症予防対策委員会ではノロウイルス感染予防の為の泡洗浄ハイターを使用し嘔吐物処理方法および手洗い研修を行いました。また、必要物品や手順を再確認しました。

手洗いについて十分行われているか、保健所より手洗いチェッカーを借用し、各自洗い残しがないかの確認を行いました。

食事前の手拭き、消毒の徹底や食後に新しいお絞りを提供し清潔保持にも努めました。

インフルエンザ感染予防、新型コロナウイルス感染症の予防の為、マスク着用、職員通用口の自動体温測定計の設置、手指消毒を行いました。

清潔と不潔の混合について手順や改善策をマニュアル化していきました。

新型コロナウイルス感染症発生時の対応について、マニュアル化しました。

7. 事故防止対策

毎月、ヒヤリハット・事故報告書の集計を行い事故を未然に防ぐように努めました。

ヒヤリハットとしては、昨年同様立ち上がりや起き上がり、独歩が多く見られていました。昨年以上に歩行や移乗時の見守り介助が必要な方が多くなり数多くのヒヤリが発生したと思われます。場所は居室やホール等日常過ごされるところが多く上がっています。時間帯は日中から夕食までが多く発生しています。

事故については、転倒・ずり落ち・皮膚剥離が多く発生しています。その他の内容として、異食・誤食・誤薬などが上がっています。夜間臥床中の転倒事故を未然に防ぐため離床センサー3名、足元センサー16名、衝撃吸収マット5名の方に使用し転落、転倒の予防に努めており夜間のヒヤリとしては多く発生していますが事故は減少しておりヒヤリハットの行動把握、センサー対応で事故の予防に繋がっています。

事故の発生場所としては居室・ホール・トイレ・食堂で多く見られました。時間帯は日中が多く見られました。

生活の場である介護施設では転倒を始めとする事故を0にすることは困難です。事故と発生時刻との関係では、職員の配置や人員不足の関連性が高いといえます。

以上のことから、入居者個々の日常生活動作能力を把握して、職員一人ひとりが常に安全を意識して、介護をすることが必要です。

また、事故を未然に防ぐためヒヤリハットの積極的な記入と活用、職員の意識づけが必要です。事故には何らかの原因が潜んでいる為、今後も事故防止委員会を中心に、事故要因分析を行っていき、事故未然防止と危険が考えられる場所の安全対策を行っていきます。

8. 高齢者虐待防止対策

コロナ禍の為施設外の研修ができず年2回、Web研修で不適切なケアについての定義、言葉遣い、また仕事のストレスを利用者にむけていないかなど研修を通して考える場を設けました。

また、虐待に繋がると思われる不適切なケアについてアンケートを実施し、虐待に繋がらないように早期に検討を行いました。

9. 夢かなえについて

今年度はコロナ禍の為全面的に夢叶えの実施ができませんでした。

10. 家族との交流について

入所時には積極的な面会をお願いし、遠方在住のご家族に対しては広報誌等の送付により生活状況をお伝えしてきました。しかし、コロナ禍の為ご家族様との直接的な交流ができず、外出も制限があって交流の場を設けることができませんでしたが、最低限の交流を持つため、コロナの感染者の減少によりリモート面会等で最低限の交流を図ることができました。

11. その他

令和3年度 実習、慰問、ボランティア、受け入れ

8月 佐賀女子短期大学1名

9月 佐賀女子短期大学1名

(コロナ禍のため、慰問、ボランティアの受け入れは、中止せざるを得ませんでした。)

特別養護老人ホームすみれ園(ショートステイ利用実績)

月	利用ベッド数	ベッド利用率	1日利用平均
4	162 床	67.5%	5.4 床
5	180 床	72.5%	5.8 床
6	198 床	82.5%	6.6 床
7	184 床	74.1%	5.9 床
8	244 床	98.3%	7.8 床
9	247 床	102.9%	8.2 床
10	254 床	102.4%	8.2 床
11	236 床	98.3%	7.8 床
12	211 床	85.0%	6.8 床
1	171 床	68.9%	5.5 床
2	195 床	87.0%	6.9 床
3	212 床	85.4%	6.8 床
平均	208 床	85.4%	6.8 床

和3年度 夢叶え実施状況

*夢叶えを希望される方の大半は、外出(買い物、食事、自宅へ帰りたい)を要望されていましたが、コロナ禍の為希望にそえず実施することができませんでした。

令和3年度 年間行事

4月12日	誕生会(誕生者3名)	11月24日	誕生会(誕生者4名)
4月14日	喫茶(レアチーズケーキ)	12月22日	クリスマス会
5月9日	母の日(51名)手作りカード	12月29日	誕生会(誕生者1名)
5月8日	喫茶(フルーツゼリー)	12月30日	門松づくり
5月29日	誕生会(誕生者8名)	1月1日	お屠蘇会
6月19日	喫茶(女性プリン・男性ノンアル・つまみ)	1月15日	鏡開き
6月20日	父の日(10名)手作りカード	1月29日	誕生会(誕生者5名)
6月26日	誕生者(6名)	2月2日	節分
7月4日	七夕祭り	2月14日	バレンタインデー
7月25日	誕生会(誕生者3名)	2月26日	誕生会(誕生者7名)
8月22日	納涼祭	3月2日	ひな祭り
8月29日	誕生会(誕生者4名)	3月30日	誕生会(誕生者5名)
9月5日	喫茶(蒸しパン)		
9月20日	すみれ園敬老会		
9月26日	誕生会(誕生者7名)		
10月24日	誕生会(誕生者4名)		
10月30日	ハロウィンパーティー		
11月14日	おでん会		

すみれ園（医務）

令和3年度も前年度同様、利用者の感染症罹患者はありませんでした。しかし、入院者は累計23件(17名)で、うち8名は病院での継続治療が必要となられ退所となっています。

令和3年度から、当園での新型コロナウイルスワクチン接種も始まり、令和4年度も引き続き第4回目以降の新型コロナウイルスワクチン接種が開始になると思われます。標準予防策の徹底により、感染予防の行動様式、感染予防対策が職員ひとりひとりに浸透出来ていると思います。引き続き、利用者様の健康管理に努めていきたいと思っています。

・状態に応じたバイタル測定		
・健康診断	ホームと長期ショート利用者の結核健診	年1回
	ホームと長期利用者の血液による内科検診	年1回
	体重測定	月1回
	全職員の健康診断	夜勤者 年2回
		夜勤者以外 年1回
・リハビリ 音楽 生活リハビリの実施		毎日
・予防		
1 インフルエンザ		
	予防接種の実施(ホーム入所者・ショート利用者・職員)	
	利用者のインフルエンザ罹患患者数	ホーム利用者 0名
		ショート利用者 0名
	職員の罹患による出勤停止者数	0名
	職員のご家族(同居)が罹患し、予防薬で出勤	0名
2 嘔吐下痢症		
	施設利用者による嘔吐下痢罹患患者数	0名
	職員の罹患による出勤停止者数	0名
	職員の家族による出勤停止者数	0名
3 その他の感染症による出勤停止者数		
	施設利用者のコロナ感染症罹患患者数	0名
	職員のコロナ感染症濃厚接触者としての出勤停止者数	3名
	職員のコロナ感染症陽性者としての出勤停止者数	2名
4 職員の麻疹ワクチン接種		対象者なし
5 利用者の肺炎球菌ワクチン接種者数		8名

・入院者数
内科 (21件)
整形外科 (2件)

3年度の死亡者数
ホーム利用者 (8名)
ショート利用者 (0名)

*当園での看取り者数 (8名)
入院治療希望でホーム退所者 (8名)

・施設内研修
褥瘡予防研修会 年3回
褥瘡予防対策委員会 年3回
感染症予防対策委員会 年4回
衛生管理委員会全体研修 年2回
誤嚥・看護師不在時・夜間緊急時の研修 年2回
ターミナル研修 年1回
ケア連携研修 年1回

・施設外研修 (WEB 研修) 13件

以上

すみれ園（給食管理）

業務報告

1. 食事提供について

人員が安定しない時期もありましたが、大きな支障はなく食事を提供することができました。献立内容や味付け、見た目、彩り、食材については委託業者（日清医療食品㈱）と連携し、改善に努めています。

個別対応食として、個々人の身体状況に合った食事を看護師、介護職員、栄養士の話し合いのもと提供しました。血液検査、体重測定等の結果のもと、栄養状態の思わしくなかった方には、栄養補助食品等で対応し、栄養状態の改善に努めました。また、便秘の方に対して、自然排便を目指し（下剤減量・中止できるように）、オリゴ糖を使用した排便コントロールに多職種で取り組んでいます。

2. 調査について

入所者の個人別食事摂取調査を毎食介護員、看護師等の協力のもと実施し、それらをもとに月平均を出し、問題のある方については多職種と話し合い、改善出来るよう検討しました。

残菜調査については毎食後主食と副食に分けて計量し、記録しました。

給食委員会での意見、日頃からの各部署より意見を参考に、献立改善・変更に努めました。

3. 衛生について

厨房内の清潔は常に心がけ、毎日の清掃、フード清掃、グリーストラップ清掃など努めました。

厨房内の水質検査は朝・夕（就業前と後）に実施し記録しました。

検便については、調理従事者は毎月1回実施し、そのほかの職員については食中毒予防と健康診断をかねて年4回（4・7・10・1月）実施しました。

※施設長・在宅ケアマネージャー・支援・事務職員は4月、10月実施

4. サービスの課題

食事について、献立の内容または食材に関しては、現地で対応できるものは今後も対応し、委託業者（日清医療食品㈱）にも意見を伝えていきます。

入居者・利用者様の食事摂取（咀嚼力・嚥下力）に対するレベル低下がみられており、対象となる方に対しては食事形態等の変更をしながら対応していますが、今後も様々な方に対応できるように給食・栄養管理スタッフの資質向上のため、業務中にでも勉強をする時間を作っていければと考えています。食事に関するマニュアルの見直しや調整、またないものは作成も進めていきます。

栄養ケア・マネジメントのサービスも進めていきます（経過措置3年）。

入居者様・利用者様は、食べることを楽しみとされています。期待に応えることができるように、給食・栄養管理スタッフ協力のもと今後も努めていきます。

3) デイサービスセンター すみれ園

2021年度の実績として、今年度の年間サービス実施日数は自然災害の影響で営業中止する事も無く、312日と昨年度より多くなりました。昨年同様、コロナ感染症の影響は少なからずあったものの、営業中止までは至らず済みました。

利用者の延登録人員の定員30名×日数＝9,360名(前年度8,113名)に対し、延実利用人員は、8,424名(前年度7,633名)となりました。

利用率は、90.0%で前年度に比べ利用者数は確実に増えて来ており、収入も昨年度より増えています。

有料老人ホーム入居者については、毎年多少の入れ替わりはありますが、年間平均19名程は確保出来ていました。しかしその分、有料老人ホームの方が長期入院となると、復帰の見込みが少なく、利用率に大きく影響するのも現実です。有料老人ホームの方の状況によっては、定員の問題で外部からの相談に応じられない事も何度かありましたが、調整次第では、新規利用者の獲得にも繋げる事が出来ました。

年間通して1日平均利用者は27.0名と昨年より増えています。まだまだ定員までは届かない状況です。月平均としては702名となりました。

利用者の平均年齢は91.0歳(昨年度89.1歳)と若干高齢化しています。利用者の中には80歳代前半の方と100歳近くの方がおられ、年齢差も大きいようです。

要支援の方については、年間通して少なく、非該当者まで含めても、年間通して2名程度でした。その2名様についても、1名は途中で要介護者となられ、1名は身体状況悪化により、利用されなくなりました。

要介護者については、今年度も「介護度1」「介護度2」の方が、大半であり、「介護度3」の方は3～4名程度と昨年と比べ大きな変化はありませんでした。「要介護度4」「要介護度5」の利用者は年間通して少なく、それぞれ1名でした。介護度が重くなると、通所介護の継続的利用は難しくなり、最終的施設入所されました。今年度は介護保険の更新で「要介護度1」から「要介護度2」へ変更になる方が多く見られました。

利用者様については、普段から介護度に関わらず、年齢や一時的な心身状態の悪化により、介助を要する方も多く、利用者一人一人に掛かる介護量としては、年々多くなって来ています。食後の休憩時間は全員の方にゆっくり寛いで頂きたいのですが、スペースの問題もあり、満足して頂けていない部分もあると思います。解決出来ていない課題の一つです。

午後の行事はリハビリ体操から始まりますが、マンネリ化しないよう、音楽を替えたり、体操動作も日によって変えています。体操はほぼ全員の方が参加されています。機能訓練加算については、家族の都合で毎日利用希望されている場合、支給限度額の問題で、加算が難しくなっています。又有料老人ホーム入居者についても、今年度から、同一建物減算が、支給限度額に含まれる為、加算計上は難しくなりました。

体操後の過ごし方については、今年度も流行が衰えないコロナ感染症の対策に追われ、レクリエーションも大声で楽しむ事は殆ど出来ず、利用者様が好まれるカラオケもあまり出来ていません。バスハイク等外出行事は、窓を開け換気を行い、密集を避ける為、少人数ずつの分ける工夫をして来ましたが、季節が限られてしまう等、満足を与える事が出来なかったと思います。

行事全体としてはメリハリの無いマンネリ化した毎日だったと思います。今後は感染症対策を行いながら、尚且つ退屈しないような行事を考えて行く必要があると感じています。

食事については、配膳の際の乗せ忘れが目立ち、利用者様へ迷惑を掛ける事が多くありました。食事中の摂取介助が必要な方も数名おられ、声掛けを行いながら慎重に行いました。その他全員の方の誤嚥防止として、食事中の見守りは欠かさず行いました。

入浴については、近年個浴が多い中、大きな浴槽は当園の、売りの一つであり、利用者様には大変喜ばれています。半面入浴嫌いな方もおられる為、その場に応じた誘導や声掛けで対応行いました。入浴中は常に利用者の安全と身体清潔に努めていますが、時間帯によっては一時的に大変込み合い接触や転倒の危険性もありましたが、大きな事故に繋がらず済みました。

浴後は、皮膚疾患やその他皮膚の変化に気づき観察を行い、主治医からの指示や必要性に応じ処置も行っています。利用者の殆どが軟膏塗布や湿布薬貼用等何らかの処置を要されており、入浴全体にかなりの時間が掛かっているのが現実です。

排泄については、時間毎のトイレ誘導は継続しています。年々介助を要する方が増えている為、交換の手間も増えています。誘導が必要な方については、時間帯によってトイレが混雑する為、時間をずらしたりしていますが、中々混雑が改善されていません。今後の課題の一つだと思います。排泄チェック表の記載は継続して行っており、排泄の有無やタイミングを知る資料となります。

今年度を振り返り、長引くコロナ感染症対策で昨年同様アルコール消毒から始まり消毒で終わる日々だったように感じています。昨年度は利用者様に習慣づけられなかったマスク着用が、今年度はほぼ全員に徹底する事が出来た事は良かったと思います。テーブル上のアクリル板についても、利用者様からの理解が得られるようになりました。

今後も感染症対策をしっかり行い、安心して利用して頂けるよう、利用者一人一人の状態に応じたサービスの提供と質の向上を図りたいと思います。

職員については、職員から感染症を持ち込まないよう、引き続き徹底した感染対策を取りながら利用者へ接して行きます。又利用者一人一人に統一した支援が行えるよう、教育に努めます。又個人情報の漏洩には十分に気を付けて行きます。

研修参加については、昨年同様 WEB研修で何とか対応出来ていました。今年度デイ会議は全く出来ていませんが、来年度はズームを利用する等して行いたいと思います。

令和3年度デイサービスすみれ園 保険外利用一覧

月	介護度	実人数	延人数	利用料	合計
4月	要介護	0人	0人	0円	0円
	要支援	0人	0人	0円	
5月	要介護	0人	0人	0円	0円
	要支援	0人	0人	0円	
6月	要介護	3人	3人	2,550円	3,400円
	要支援	1人	1人	850円	
7月	要介護	1人	1人	850円	850円
	要支援	0人	0人	0円	
8月	要介護	0人	0人	0円	0円
	要支援	0人	0人	0円	
9月	要介護	0人	0人	0円	0円
	要支援	0人	0人	0円	
10月	要介護	1人	1人	850円	850円
	要支援	0人	0人	0円	
11月	要介護	1人	1人	850円	850円
	要支援	0人	0人	0円	
12月	要介護	0人	0人	0円	0円
	要支援	0人	0人	0円	
1月	要介護	0人	0人	0円	0円
	要支援	0人	0人	0円	
2月	要介護	0人	0人	0円	0円
	要支援	0人	0人	0円	
3月	要介護	0人	0人	0円	0円
	要支援	0人	0人	0円	
合計	要介護	0人	0人	0円	
	要支援	0人	0人	0円	
	総計	7人	7人	5,950円	

令和3年度デイサービスセンターすみれ園 事業実施状況

実施月	利用回数	延登録人数	延利用人数	事業対象者	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	実利用者計	利用率	1日平均	延入浴人数	入浴利用率
4月分	26回	780名	713名	1名	0名	1名	16名	15名	5名	0名	0名	38名	91.4%	27.4名	438名	61.4%
5月分	26回	780名	695名	0名	0名	1名	17名	15名	4名	1名	0名	38名	89.1%	26.7名	420名	60.4%
6月分	26回	780名	699名	1名	0名	1名	15名	15名	5名	1名	0名	38名	89.6%	26.9名	415名	59.4%
7月分	27回	810名	704名	1名	0名	1名	15名	15名	5名	1名	0名	38名	86.9%	26.1名	426名	60.5%
8月分	26回	780名	734名	0名	0名	1名	14名	16名	5名	1名	0名	37名	94.1%	28.2名	438名	59.7%
9月分	26回	780名	747名	0名	0名	1名	14名	14名	6名	1名	0名	36名	95.8%	28.7名	439名	58.8%
10月分	26回	780名	698名	0名	0名	0名	15名	14名	6名	1名	0名	36名	89.5%	26.8名	413名	59.2%
11月分	26回	780名	703名	0名	0名	0名	17名	14名	3名	0名	0名	34名	90.1%	27.0名	429名	61.0%
12月分	27回	810名	702名	0名	0名	0名	16名	14名	3名	0名	0名	33名	86.7%	26.0名	450名	64.1%
1月分	25回	750名	644名	0名	0名	0名	16名	13名	3名	0名	0名	32名	85.9%	25.8名	391名	60.7%
2月分	24回	720名	672名	0名	0名	0名	14名	14名	4名	0名	1名	33名	93.3%	28.0名	372名	55.4%
3月分	27回	810名	713名	0名	0名	0名	13名	15名	4名	0名	1名	33名	88.0%	26.4名	437名	61.3%
計	312回	9360名	8424名	3名	0名	6名	182名	174名	53名	6名	2名	426名	-	-	5068名	-
平均	26.0回	780.0名	702.0名	0.3名	0.0名	0.5名	15.2名	14.5名	4.4名	0.5名	0.2名	35名	90.0%	27.0名	422.3名	60.2%

体験1名
含む(介1)

4) ケアマネジメントサービスすみれ園

1. 認定調査

令和元年度より大字福母地区の認定調査を担当しています。年間の調査件数は、72件(町外の方や中部広域の方を含む)、月平均6件となっています。

令和2年度に比べると年間20件増加しています。介護保険の認定期間が最短6ヶ月、最長で48ヶ月と認定を受ける方の心身の状態で異なるため、調査の件数も増減していくものと思われます。認定調査は3年毎に担当地区を交代しているため令和4年度からは大字大町地区を担当することになっています。

認定調査についてはご家族の立ち合いをお願いし、ご本人の話だけでは分からない普段の状況も丁寧に聞き取るようにしています。別居されているご家族や立ち会われるご家族がいらっしゃらない方など普段の状況を把握しにくい方については、介護サービスを提供しているサービス事業所や担当のケアマネージャーに聞き取りを行い、普段の生活状況を確認するようにしています。

また住宅型有料老人ホームや、グループホームなどの施設入所をされている方に関してはコロナ禍でご家族の立ち合いが難しく、ご本人と施設スタッフの立ち合いでの調査となっています。コロナウイルス感染症の発生後、鼻水程度の少しの風邪症状でも調査を延期させて頂くなどの対応が必要となるため調査に伺う私達自身の健康管理の重要性を感じるようになりました。

	調査件数		調査件数
4月	8	10月	6
5月	7	11月	4
6月	2	12月	2
7月	6	1月	5
8月	6	2月	12
9月	4	3月	10
合計	72	平均	6

2. 要介護認定者への支援

居宅サービス計画の作成(ケアマネジメント)にあたっては、利用者の生活状況や生活における課題を把握し、利用者の有する能力を最大限に活用しながら、自立支援を目指しました。重い介護度から軽い介護度へ改善されたり、要介護から要支援へ改善されたりする方もおられましたが、反対に状態が悪化される方もおられました。

高齢の方達ですので状態が改善しても自立することは難しい状況ですが、要支援の方など軽度者には介護保険外のサービス(福祉用具の自費購入や買い物リハビリクラブへの移行など)へ繋げていくことで介護保険を利用しなくても自宅での生活が継続できるようになれる方もおられました。

サービス利用開始後は、毎月自宅で利用者及び家族と面談し、心身状態の把握やサービスが適切に実施されているか等を把握(モニタリング)し、状況に応じ3ヶ月から半年毎にケアプランの評価及び見直しを行っています。

コロナウイルス感染症が発生後、短時間で訪問するようにしていますが、話を聞いてもらいたいと思われている方や心身状況に変化があったり新たなサービス導入を検討する必要があるなど長時間の訪問になってしまうことも多く、感染症対策の面を考えると対応の難しさを感じています。今のところはコロナウイルスに感染された利用者はおられません、県外在住者と接触された場合に2週間の利用中止やPCR検査での陰性確認などの対策を取られているサービス事業所もあり、対応に苦慮することも少なくありません。

介護保険の更新や区分変更申請を行った場合は主治医や各サービス提供事業者からの専門的な意見を聴取し、より充実したケアプランとなるよう心掛けています。介護保険の更新や区分変更申請を行った際に、ご本人及びご家族、サービス担当者により開催されるサービス担当者会議については今年度も参加者を最少人数にしたり文書による照会にしたりするなどコロナウイルス感染拡大防止の観点からの対策も行いました。

令和3年度において新規での居宅サービス作成依頼を受けた件数は22件となっています。また令和3年度末までに居宅支援を終了した方が21名となっており、内訳として特別養護老人ホーム入所6名、老人保健施設入所2名、グループホーム入所1名、長期入院1名、死亡7名、その他4名となっています。12月からはケアマネージャー1名が育休から復帰しましたが、部署異動があり2名体制を継続することになりました。

・居宅サービス計画作成件数

	サービス計画作成件数		サービス計画作成件数
4月	67	10月	66
5月	65	11月	65
6月	65	12月	63
7月	66	1月	62
8月	67	2月	64
9月	63	3月	67
合計	780	平均	65

3. 要支援認定者への支援

要支援認定を受けた高齢者の介護予防支援については地域包括支援センターより委託を受け、支援を行っています。支援の流れは要介護の方と変わりなく、毎月のモニタリングのための訪問、定期的な評価、見直しを行っています。令和3年度は事業対象者を含め9名の方を受け持ちましたが入院などで利用されない月もあっています。また、そのうちの3名は要介護となられ、3名はサービス終了となられています。

・介護予防サービス計画作成件数

	介護予防支援	予防ケア マネジメント		介護予防支援	予防ケア マネジメント
4月	5	2	10月	5	0
5月	6	1	11月	5	0
6月	6	2	12月	4	0
7月	6	2	1月	4	0
8月	6	1	2月	4	0
9月	4	1	3月	3	0
合計	58	9	平均	4.8	0.75

5) 在宅介護支援センターすみれ園

1. 配食サービス調査

大町町からの委託を受け、町内の65歳以上の配食サービスを希望する独居高齢者や高齢者世帯の方を訪問し、実態把握の調査を行っています。令和3年度も、大字福母地区の調査を担当しました。年間の調査件数は6件と多くはありません。

町の配食サービスは独居高齢者や高齢者世帯しか利用できないことから、ワタミのタクシーや生協のお弁当などを利用されている高齢者も少なくないようです。

・配食サービス調査

	調査件数		調査件数
4月	1	10月	0
5月	0	11月	1
6月	0	12月	0
7月	0	1月	0
8月	0	2月	3
9月	1	3月	0
合計	6	平均	0.5

2. 福祉車両及び車椅子貸与

要介護高齢者の外出支援、在宅生活維持の支援として、町内在住の要介護者を対象に車椅子に乗ったまま乗車できる福祉車両及び車椅子の貸し出しを行っています。

コロナ渦で定期受診や外出を控えられたようになったことや往診をして頂く利用者が増えたことから車輛貸し出しの件数は多くはありません。

・福祉車両及び車椅子貸出件数(のべ人数)

	福祉車両	車椅子		福祉車両	車椅子
4月	1	0	10月	0	0
5月	1	0	11月	1	0
6月	1	0	12月	0	0
7月	1	0	1月	1	0
8月	0	0	2月	0	0
9月	1	0	3月	1	0
合計	8	0	月平均	0.7	0

6) ケアハウスすみれ園

令和3年度は、退居者数6名、入居者数6名、入居者の平均年齢83.7歳で前年比1.9減、入居者の71.4%が80歳以上です。昨年の豪雨災害にて自宅を被災された方が一時避難として入居された方もおられた。一昨年末にはノロウイルス感染を起こしたのもあり、引き続き感染予防対策、再発防止のための取り組みを行いました。新型コロナウイルス感染対策として面会や外出規制、毎朝体温チェック等の予防対策を行いました。

また、心身の状態観察、健康管理に努め家族、主治医、担当ケアマネージャーなど関係機関と密な連携に努めました。

今年度の新しい取り組みとしてはセレクト弁当の日を設けたり、介護予防の為に体操を週1回行ったり、コロナ禍でも入居者様に満足いただけるような取り組みを行いました。

令和3年度中の入院は、14名中延べ5名。ショートステイ利用が、14名中3名。

退居理由としては、介助が必要となられ他の施設に入所されたり、入院が長引き退院の目処がたたず、退居された方もおられました。

居室稼働率は、近隣に老人施設が増える中、入居者の獲得が年々難しくなっています。稼働率の低下は、今後の課題です。

入居者状況(令和4年3月31日現在)

男性	5名
女性	8名
計	13名

男女別年齢構成

年齢	男性	女性	計
60～64	1	0	1
65～69	0	0	0
70～74	1	0	1
75～79	1	1	2
80～84	0	1	1
85～89	2	4	6
90歳以上	0	2	2
計	5	8	13

入居者の介護度

自立:4名

要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
2	4	3	0	1	0	0

介護サービス利用人数(複数利用あり)

訪問介護	デイサービス	デイケア	福祉用具レンタル	合計
8	1	2	6	17

居室稼働率

・退居は原則として月末

・年間を通しての稼働率:94.6%

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
居室数	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14
入居者数	14	14	13	12	14	14	12	12	13	14	14	13
新入居者数	1	0	0	0	3	0	0	0	1	0	0	0
退居者数	0	0	1	1	1	0	2	0	0	0	0	1
稼働率	100	100	92.8	85.7	100	100	85.7	85.7	92.8	100	100	92.8

年間行事については、定例のお茶会、誕生会を行い楽しんでいただき入居者間の親睦を深めることができました。しかし、その他の行事に関しては新型コロナウイルス感染の流行により例年参加をしていた運動会や敬老会、秋祭り等の行事が中止となり実施できませんでした。バスハイクは感染対策を行い、日用品の買い物の他、気分転換を図ることが出来ました。防災関係としては、年2回の避難訓練(昼間・夜間)はコロナ禍の為、実施できておりません。

実施行事内容

	行事内容
4月	お茶会
5月	お茶会・誕生会・
6月	お茶会
7月	お茶会・誕生会・バスハイク(買い物)・七夕
8月	お茶会・セレクト弁当
9月	お茶会・誕生会・敬老会・水質検査(レジオネラ)
10月	お茶会・バスハイク(買い物)
11月	お茶会・誕生会・バスハイク(買い物)・セレクト弁当
12月	お茶会・バスハイク(買い物)・クリスマス会
1月	お茶会・誕生会・お屠蘇会・新年会
2月	お茶会
3月	お茶会・誕生会・水質検査(レジオネラ)・セレクト弁当

お茶会(1回/月) 誕生会(1回/2ヶ月) バスハイク(1回/月)

今後も、新型コロナウイルス感染対策の予防に努めながら、体調、精神面の変化に留意し健康で安全な生活を送っていただけるように努めるとともに、個々の支援の必要性の見極め、家族、関係機関との細かな連携に努めます。

また、引き続きケアハウスの入居待機者、入居者を得るために関係機関と連携を図り、広報に努めていきます。

7) 有料老人ホームすみれ園

令和2年度の月平均入居者数17.25人に対して令和3年度の月平均入居者数は19.41人と前年度より増加しました。

今年度の入院者は9名(延11名)と昨年と比べ大きな変化はなく、一人当たりの平均入院日数は20.4日で退院されても有料老人ホームでの生活は難しくなり、特老のショートステイ利用をはじめ、他施設への転居される方が多いのも現実です。

入院期間が短い方については、退院後も何とか有料老人ホームでの生活が保たれているようですが、入院前の状態に戻られるまでは、しばらく時間が掛かっています。

令和3年度の入居者の平均年齢が90.1歳であり、昨年度とほぼ変わりはありませんが、入居者の中には100歳に近い方と80歳前半の方の年齢差が激しく見られています。やはり90歳代後半の方については、退院後も身体機能と体力は回復する事が難しく、そのまま退居に繋がってしまう大きな原因と思われます。

入居者ほぼ全員の方が、一人で多くの疾患を抱えておられますが、主に心疾患、骨粗鬆症、認知症、呼吸器疾患、腎疾患等が多いようです。幸いな事に夜間急変して救急搬送や死亡される事はありませんでしたが、今後はいつでもあり得る事だと言う心構えも必要になります。

<感染症予防>

コロナ感染症については、施設外では今年度も治まるどころか、昨年度を上回り感染者が拡大しましたが、当有料老人ホームについては、職員、入居者共に感染者を出す事無く過ぎた事は良かったと思います。これも面会制限や不要な外出を制限した事等、感染症予防対策をしっかりと行った成果だと思います。

面会制限については入居者様、ご家族様の理解の元、感染状況に応じ完全に制限したり、ガラス越しで短時間の面会を実行したり状況に応じて対応しました。しかし長引く外出制限や面会制限で、入居者様、ご家族様にとっては不満足な結果だったと思います。

普段からのマスク着用やアルコールの手指消毒については、拒否される方も少なくなり、ご理解頂き習慣づけが出来て来ました。又昨年同様、年間通してインフルエンザや風邪症状も殆ど無く済みました。

また職員も感染予防の為に自宅での生活制限(人との接触制限や外出制限、身体、環境の消毒等)に留意して来ました。

<事故予防>

年々高齢化して行くこの有料老人ホームで安心して生活して頂くには、事故予防は必須だと思います。特に転倒事故には十分な気を払い、時間毎の巡回を怠らず、また、状況によってはセンサーマット使用で未然に転倒事故を防いで来ました。それでも起こってしまうのが現実ですが、1件でも少なくと言う気持ちで接して来ています。

その他誤嚥を予防する為、食事中の見守りをしっかり行い、場合によっては食事形態の見直し等行いながら、誤嚥を予防して来ました。加齢により、嚥下力が低下されている入居者様には、自宅からの持ち込みや決まった時間以外のおやつ摂取を厳しく制限させて頂きました。

また、個人の居室で菓子類を管理する事は、誤嚥や腐敗または入居者様同士のやり取りの原因になり得る為、事務所管理として来ました。

幸い今年度も当施設で誤嚥や食中毒等の事故は発生しませんでした。今後もこの対策は継続して行きます。

令和3年度入居者数と平均介護度

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入居者数	20	19	19	19	21	20	20	20	19	18	19	19
平均介護度	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.8	1.9	1.7	1.6	1.6	1.7	1.9

令和3年度入居者の 入所前の状況

入所前独居者……………0% 入所前家族と同居……………44%
 病院からの入所……………10% 施設からの入所……………20%

入居者の在宅サービス利用状況

デイサービス利用……………100% 訪問介護サービス利用……………0%
 訪問リハビリ利用……………0% 福祉用具貸与 ……………0.8%

デイサービスでの入浴

令和3年度入所状況

月	入所者数	介護度	月	入所者数	介護度
4月	2名	要介護1	9月	1名	要介護2
5月	1名	要介護2	11月	1名	要介護2
7月	1名	要介護2	2月	1名	要介護1
8月	2名	要介護2			

<入所理由>

- ・認知症の進行により家族が同居していく自信がなくなった(2名)
- ・身心の低下により家族が在宅介護をしていくことを難しいと判断した(4名)
- ・身心の低下により独居生活を続けることが難しいと本人が判断した(0名)
- ・身心の低下により他施設から当施設へ入所となった。(3名)

令和3年度退所状況

4月	2名	要介護2	11月	1名	要介護3
6月	1名	要介護2	12月	1名	要介護3
8月	2名	要介護1 要介護2	2月	1名	要介護1
10月	1名	要介護3			

退所者数は9名、平均入所月数機関は15.8ヵ月だった

〈退所理由〉

- ・身心の機能の低下により手厚い介護が必要となり特老や他施設への入所となった。(4名)
- ・専門的な病院での治療が必要となり退所となった(3名))
- ・家族が同居し在宅介護を希望された。(2名)